

23区最高峰の、箱根山と愛宕山

西 正子

- 2015年12月23日(水) 曇り
- メンバー 西A 西M

2015年の山納めに、23区最高峰の「箱根山」と「愛宕山」に行ってきました。

●箱根山(44.6m)

新宿区「戸山公園箱根山地区」にある山です。

地下鉄西早稲田から7~8分で公園入口に入り、そこから標識にしたがうと、あっという間に頂上でした。

暖冬とは言え、さすがに12月後半。あたり一面落ち葉のじゅうたんでしたが、かろうじて数本のモミジが葉を残し、殺風景な冬景色に彩りを添えていました。

その山頂ですが、広さは5m×5mくらいで、地面はコンクリート造り。四方はぐるりと鉄柵が回っています。真ん中にはベンチと方位を示す石盤が設置され、言ってみれば、たいへん人工的な山頂でした。

山を取り囲むのは、たくさんの桜の木です。満開の時はさぞや華やかな景色でしょう。

今日は花がない分、葉を落とした枝越しに遠望がききます。周囲360度、ビルやマンションが立ち並び、「23区の山」ならでは、独特の眺めを楽しみました。

この「箱根山」ですが、完全な人工山のようにです。

もともと戸山公園の前身は、徳川藩主の下屋敷。回遊式庭園を造ったとき、池を掘った残土の盛り土が、「箱根山」になったと伝えられています。

それでも 公園じたいを散策すると、豊かな森が広がり、すがすがしい空気が流れています。ジョギングする人、ベンチで読書を楽しむ人など、都心のオアシスの役割を担っているのを感じました。

●愛宕山(25.7m)

「自然地形」として、23区でいちばん高い山は、NHK放送記念館のとなり、神社で有名な愛宕山です。

地下鉄御成門から10分弱。虎ノ門、神谷町からも歩けます。行ってみると、愛宕山一帯は、あたり一帯がこんもり盛り上がった地形で、その端を愛宕トンネルの道路が抜けていました。

「出世の石段」と呼ばれる急な階段を登りきったところが愛宕神社で、「神社」イコール「山頂」でした。(私たちは別の道を登ってきたのですが、正しい参拝はこの石段を登降に使うようです)

箱根山とは、ずいぶん雰囲気がちがいます。瀟洒な社殿。社務所にはお札や絵馬が並び、池にはたくさんの鯉がいます。隅に置かれた「三角点」がなければ「山」とはとても思えません。

ひと足早い初詣を済ませた後、「出世の石段」を下りましたが、スキー場の上級コースくらいの勾配があり、油断できない下山でした。

「出世の石段」とは変わった呼び名ですが・・・その昔、徳川家光公の命により、馬で石段を登り降りし、山頂の梅の枝を献上したひとりの武士が、馬さばきの見事さを認められ、出世したという逸話からつけられたそうです。でも、出世をしても、転げ落ちたりしたら、元も子もありません。

遭対基金を無駄に使ってはいけないのです。

●補足

「海拔」だけで調べると、23区内にもっと高い場所はたくさんあります。しかし、周囲から盛り上がった文字通りの「山的地形」をさがすと、この2山が最高峰なのです。

ちなみに、私の住む所沢市は海拔約70m。西武線に乗っていると、都内から平らにつづく土地に見えますが、意外に傾斜があることにおどろきました。